

江東区

令和2年1月5日号

第220号

(年3回発行)

社協だより

しゃきょう

発行/社会福祉法人
江東区社会福祉協議会

☎ 03-3647-1895 (代)

FAX 03-3647-5833

〒135-0016 江東区東陽6-2-17

高齢者総合福祉センター 2F

<https://koto-shakyo.or.jp/>

社協はみなさんの支え合い、助け合いをサポートする公共性を持った民間の福祉団体です

広げよう「支えあい」のまちづくり

活動14年 車いすの点検・整備 10,000台達成!

江東社協の車いすの貸出サービスや区内の高齢者施設で使用する車いすを点検・整備している「車椅子点検整備ボランティアの会」の皆さんが、令和元年10月25日の活動で、車いすの点検・整備台数10,000台を達成されました。

「車椅子点検整備ボランティアの会」の皆さん、いつもありがとうございます。

車椅子点検整備ボランティアの会

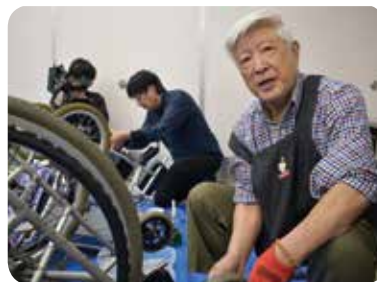
ボランティアコーディネーター養成講座1期生が立ち上げたボランティア団体。工業高校で整備のノウハウを学び、「安全・清潔・快適な車いす利用をめざす」をモットーに、区内高齢者関連事業所8か所(江東社協含む)で車いすの点検・整備に取り組んでいます。

あなたもボランティア活動をはじめませんか?

ボランティア活動のご相談は、江東ボランティア・センターまで。

問合せ

江東ボランティア・センター ☎ (3645) 4087 FAX (3699) 6266



▲点検・整備 10,000 台目の車いす

整備された車いすは、区民の皆さんに貸出しています

【貸出期間】2か月以内

※必要に応じて最長1年を限度として期間延長することができます。
(点検のため6か月で車いすを交換します。)

【費用】無料 ※自宅へのお届けサービスを希望する方は、
配送経費の自己負担があります。

車いすの
貸出
サービス

問合せ

福祉サービス課 福祉サービス係

☎ (3647) 1898

FAX (5683) 1570

区民の皆さま、あけましておめでとうございます。
令和二年の年頭にあたり、皆さまのご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。
昨年一年間、江東区社会福祉協議会の運営と各種行事にご支援、ご協力を賜り、ありがとうございました。
さて、昨年は、佐賀県豪雨、台風十五号の暴風雨による千葉県災害、そして台風十九号では、東日本各地において河川の堤防が決壊するなど、洪水や土砂崩れなどの災害が各地で発生いたしました。
近年、地震や豪雨などの自然災害が大変多く発生しており、自分の身は自分で守る「自助」の意識の高まりを感じております。
各個人で食料や飲料を備蓄しておくことも大切ですが、いざという時に最も頼りになるのは「ご近所の助け合い」、すなわち「共助」であります。
社会福祉協議会は、地域の助け合い・支え合いを推進することをその使命としており、地域の絆で結ばれた誰もが安心して暮らすことのできる、あたたかいまちをつくることのできる私たちの役割であります。改めてその役割の重要性を認識し、役員、職員一同、本年も努力してまいります。
引き続きのご支援とご協力をお願いいたします。新年の挨拶といたします。



社会福祉法人
江東区社会福祉協議会
会長(江東区長)
山崎孝明

年頭に
あたって

広告—私たちは江東区の地域福祉活動を応援します—

社協だより全戸配布
についてのお問合せ

社協だよりコールセンター

☎ 050 (5434) 9304

平日(月曜から金曜)午前9時から午後6時

第38回 障害者作品展

開催日時 令和2年2月5日(水)から7日(金)
午前9時から午後9時
(最終日のみ午後3時まで)

会場 江東区文化センター2階展示ロビー

昭和56年より開催している「障害者作品展」は、今年で38回目を迎えます。障害者の創作活動への意欲・技術の向上を図るとともに、障害のある方に対する理解を深めることを目的としています。参加者も昨年は670名を超え、絵画、写真、陶芸、手芸、書道などの作品が500点ほど並びます。創造性豊かな作品を、ぜひご覧ください。



▲昨年の会場の様子



金賞



銀賞

昨年度 受賞作品(団体)



金賞



銅賞

昨年度 受賞作品(個人)

問合せ 福祉サービス課 福祉サービス係
☎ (3647) 1898 FAX (5683) 1570

障害者作品展に向けて作品制作中!



障害者福祉センター

障害者福祉センターで開催する陶芸教室や絵手紙教室では、障害者作品展に出品する作品作りにも取り組んでいます。(教室は申込の時期があります)



編み物サークル桔梗

概ね、毎月第2・第4金曜日に障害者福祉センターで活動する編み物サークル桔梗(ききょう)の皆さんも、毎年、障害者作品展に参加しています。



障害者福祉センターの編み物教室の受講生が始めたサークル。「自分用に」「孫のために」と思い思いの作品を作ったり、皆で分担して同じ作品に取り組んだり、和気あいあいと活動しています。

教室やサークル活動に関心のある方は 障害者福祉センターまでお問合せください。 問合せ 障害者福祉センター ☎ (3699) 0316 FAX (3647) 4918

障害者作品バザー

江東社協では、江東区内の障害者通所施設に通う方たちの作品を販売する障害者作品バザーを開催しています。

障害のある方たちが、ひとつひとつまごころをこめて作った陶芸品、木製玩具、衣類、アクセサリ、手工芸品、焼き菓子、手焼き煎餅、パンなどを展示・販売しています。現在は、主に各文化センターのおまつり、企業内などで開催しています。障害のある方たちが自ら販売に立つこともあり、社会参加の機会ともなっています。

より多くの区民の皆さんに、障害のある方たちのこと、障害者施設のこと、障害者の作品のことを知ってもらうため、さらなる品質の向上、販売場所の新規開拓を目指し活動していきます。

【今後の予定】

2月 森下フェスティバル
(森下文化センター 森下3-12-17)

3月 亀戸フェスティバル
(亀戸文化センター 亀戸2-19-1カメラプラザ)

問合せ

福祉サービス課 福祉サービス係
☎ (3647) 1898 FAX (5683) 1570



▲昨年の森下フェスティバルでの様子

江東区内社会福祉法人ネットワーク 地域公益活動の取り組み紹介

江東社協は、江東区内の社会福祉法人と連携し、地域における公益的な取り組みを推進することを目的に、江東区内社会福祉法人ネットワークを立ち上げました。

社会福祉法人が多様化・複雑化する地域の福祉ニーズに対応するため、創意工夫により先進的・先駆的に取り組む事例をシリーズで紹介していきます。

今回は令和元年11月9日に実施された、社会福祉法人あそか会による合同防災訓練についてご紹介します。



▲社会福祉法人あそか会
本部事務局事務局長 浅田年愛氏（左）
看護部副部長 宮坂広氏（右）

第1回 社会福祉法人あそか会 「合同防災訓練」

どのような目的で、防災訓練を企画・実施したのですか

あそか会が所属する広域医療法人のグループで、関係機関・団体との連携を深める目的で毎年防災訓練を行っています。今年度は江東区の災害拠点である、あそか病院を中心に、東京オリンピック・パラリンピックに備えた災害対策訓練を企画しました。



訓練してみてもいかがでしたか

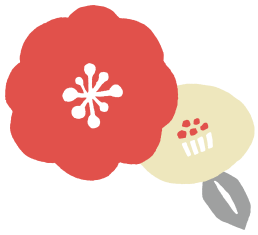
1年ほど前から企画しはじめました。オリンピック関連イベントの最中に、屋台営業中の携行ガソリンタンクが爆発したという想定で行いました。当日は法人内参加者が180名ほど、そのほか東京消防庁、医師会などの協力がありました。負傷者をトリアージ(重症度に基づく選別)し、搬送する訓練も行いました。もう少し準備を丁寧にすれば良かったということが反省です。



今後の課題はありますか

大型の台風による水害などを想定した訓練を実施する必要があると思います。私たちは災害発生直後の訓練を実施していますが、ライフラインが復旧しボランティアを受け入れるなど、地域に密着して助け合っていく役割を担う社協とも、ぜひ今後は協力して訓練などを実施していければと思います。





「令和元年度 福祉のつどい」を開催しました

江東社協へのたくさんのご寄付とボランティア及び地域福祉事業へのご協力に対して、心から感謝申し上げます。

第1部 感謝状贈呈式

令和元年11月21日(木)、深川江戸資料館にて「令和元年度福祉のつどい」を開催しました。第1部では感謝状の贈呈式を行いました。感謝状をお贈りした方々は、ご寄付いただいた方、個人11名、法人・団体37団体、特に多額のご寄付をいただいた方、個人1名、長きにわたり継続的にボランティア活動に尽力された、ボランティア協力者5名の合計17名、37団体です。(敬称略・50音順)

個人(特別)	加藤 玉枝	
個人(一般)	小室 明子	野沢 浩
	相澤 守・千恵子	福島 勝雄
	佐藤 輝子	山下 光子
	石渡 基治	吉川 宏
	鈴木 淳一	
	伊藤 昭二	
	野沢 京子	

団体(一般)
有明興業株式会社
一般社団法人 東京都江東産業連盟
一般社団法人 東京都トラック協会 深川支部
医療法人社団亀藤会 亀戸中央通り歯科
ウスクラ建設株式会社
株式会社 羽田野建設 代表取締役 羽田野 勤
株式会社 ワイズマート 代表取締役 吉野 秀行
環境整備推進委員会 代表 老沼 秀子
北砂亀高クラブ
きよし幼稚園 園児一同
キングレコード吟詠剣詩舞会 東京支部
公益社団法人 江東区シルバー人材センター
公益社団法人 江東西青色申告会
公益社団法人 江東西法人会
公益社団法人 江東西法人会 第10・11ブロック

公益社団法人 東京都宅地建物取引業協会 江東区支部
江東明るい社会づくりの会
江東区伝統工芸保存会
江東区老人クラブ連合会
江東建設業協会
江東リサイクル協同組合
持宝院「宝輪会」
仁生堂薬局
新日本工業株式会社 代表取締役 金子 佳正
田中商店 田中 季彦
東覚寺
東京江東ライオンズクラブ
東京土建一般労働組合 江東支部
東京都中央卸売市場 豊洲市場 福祉報徳会
東京都立東高等学校 生徒会

東京東信用金庫 理事長 中田 清史
東京ベイロータリークラブ
トライリンクス株式会社
中村中学校・高等学校 校友会
東砂一・二丁目 上妙寺
民生・児童委員 扇橋地区一同
森下商店街振興組合

ボランティア
伊藤 清
入岡 暁
野島 京子
安田 徳男
吉田 正子



▲講演者 神田織音さん

第2部 講演会

講演者の神田織音さんをお招きし、「成年後見制度と認知症」をテーマに、ご講演いただきました。認知症お姉妹を食い物にする過剰工事業者の話や、家族による預貯金・年金の使い込み、認知症が始まった方の話など、実話を元にした講演を3話に分けてお話いただきました。このような例があった場合、どのように成年後見制度を利用できるかをお話いただき、来場された方々からは「講演で聞くと、イメージがしやすくとても分かりやすかった。」「身につまされる話が多く、とてもためになった」「非常に具体的で、成年後見制度についてもっと知りたくなった」などの声を多くいただきました。



▲民生・児童委員コーラス部の歌の披露



▲感謝状贈呈式

善意のご寄付ありがとうございます。

物品寄付者のご報告 (R1.7.24~R1.12.15)敬称略・受付順

- 車椅子点検整備ボランティアの会(車いす新品2台)
- (一財)太田慈光会 代表理事 太田義徳 (ジャガイモ3,000kg)
- 東京女性問題協議会 (未使用切手77,092円分、書き損じハガキ2,420枚)
- 亀戸チャリティバレーボール大会(タオル128枚)
- 浄土宗東京教区青年会(歳末たすけあい物品一式)
- ※いただいた物品は、区内福祉施設などへ贈りました。上記に掲載した寄付以外にもたくさんの善意がよせられています。
- ※車いすは、区民の皆さんへの貸出用とさせていただきます。
- ※使用済み切手などは、江東ボランティア連絡会の活動のために活用させていただきました。
- ※現金の寄付者につきましては、江東区報の毎月1日号に掲載しております。

11月分のみ、12月21日号に掲載しました。

問合せ 総務課 管理係
 (3647)1895 FAX (3647)5833

平成30年度は、現金によるご寄付を11,587,522円いただくとともに、物品によるご寄付も多数いただきました。誠にありがとうございます。

令和元年度は、いただいたご寄付を以下の事業に活用いたします。

- 地域福祉コーディネーターの活動費 ● 地域の福祉活動への助成金
- ボランティアの育成 ● 災害ボランティアセンターの整備 など

今後とも、皆さまからのご支援・ご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。

発行 社会福祉法人 江東区社会福祉協議会

〒135-0016 江東区東陽6-2-17
 高齢者総合福祉センター 2F

☎ (3647)1895 FAX (3647)5833

江東社協

検索

<https://koto-shakyo.or.jp/>

